

076-4

OJT による臨床能力改善に向けた取り組み

理学療法士：石田 英稔¹、理学療法士：小野 一直¹¹：医療法人社団生和会 周南リハビリテーション病院

【目的】当院では、平成29年10月から在職者に対する教育システムとしてOn The Job Training（以下OJT）を導入した。本研究ではPT部門における導入方法と実績について紹介するとともに、効果について検証することを目的とした。【導入方法】1名の指導者によって、25名の受講者に対してOJTを実施。実施時間は40分間とし、1日に1人ずつリハビリ場面に介入。事前に月間スケジュールを提示し、対象患者は受講者が選定。指導者はレポートを記入しフィードバックを実施。【実施実績】平成29年10月～30年3月までに101回のOJTを実施。1回のOJTで平均3.1項目について指導。指導内容は病態と予後、リハビリプログラム、介助方法の順番に多かった。【検証方法】平成29年10月以降に回復期リハビリテーション病棟に入院し、30年4月までに退院した患者を対象とした。期間中にOJTを一度でも実施した患者をOJT実施群（n=23）、実施していない患者をOJT非実施群（n=27）としFIM運動項目点数（入院時、退院時、利得）、入院日数について群間比較を行った。統計学的解析はR-3.5.0を使用し、有意水準は0.05とした。【結果】入院時FIM運動項目点数はOJT実施群が低値、入院日数はOJT実施群が高値を示した。その他の項目には有意差を認めなかった。

【考察】本研究ではOJTによる明らかなFIMの改善効果は認めなかった。サンプルサイズが小さいことと、重度な患者に介入する機会が多かったことが影響していると考えられた。